

緑川正雄（1907～1985）



第三代社長
緑川正雄
(昭和23年～昭和45年)

緑川賢策の長男。初代大館商工会議所会頭で、9期18年間在任した。

扇田町白砂生まれ。扇田小、大館中から法政大学経済学部学ぶ。昭和6年秋田木材入社。昭和15年、北秋木材常務、23年社長に就任。

秋田県製材協会会長、県北洋材荷協会会長、県木材工業振興対策協議会会長、協同組合秋田木材コンビナート理事長など商工業界全般で15程の公職を歴任。特に木材の需要安定功労者として昭和45年には藍綬褒章を受けている。

31年、大館ロータリークラブ、42年には大館市観光協会を設立して、それぞれ初代の会長に就いた。昭和60年1月13日死去。

(大館市の先人を顕彰する会 大館の人・事典)